

緑山岳会春合宿 2013/5/3 鹿島槍東尾根

日程: 2013/5/3~2013/5/4

メンバー: POND, Yone

行程概要

2013/5/3

23:50 (5/2) 新宿発 - 5:08 信濃大町駅 - (5:50 - 6:30) 大谷原駐車場 - 10:50 一の沢の頭 - 13:00 一の沢の頭より下降開始 - 16:00 ビバークポイント

2013/5/4

5:40 起床 - 9:00 出発 - 10:50 サポート隊合流 - 14:00 大谷原駐車場 - 17:00 信濃大町駅 解散

記録

途中で事故が起きてしまったが、負傷者が冷静にかつ気合で降りてくれたことおよびサポート隊のおかげでヘリを呼ぶことなく無事に下山できた。

2013/5/3

前夜発 23:50 のムーンライト信州 81 号で信濃大町に向けて出発。POND は大月で合流。車内はチケットが売り切れており、満席。5:08 に信濃大町駅着、タクシーを予約しておいたので迎えが来ている。ただしすでにタクシー乗り場には数台のタクシーが待機しているので予約は必要ではなかった。

大谷原駐車場で赤岩尾根隊と合流する。起きているのか起きていないのかよくわからなかったが tozai コールをかけたならテントから出てきた。

6:30 に出発。林道をすすみながら目印となる赤テープを探す。歩き出してすぐに両脇に赤テープがある。これは尾根末端から登るルート。10分ほど進むと堰堤と取水口がある場所で赤テープがありここから急登にはいる。この先にも赤テープがあるらしいが、そちらは一の沢の頭にダイレクトに登るルートで

ありかなり悪いらしい。藪がうるさい急登を30分ほど赤テープをたどると尾根上にでる。少し進むとようやく雪稜と出てきた。



ここからは雪稜と藪の繰り返し。雪稜はすでに暖まっていることもあり靴が少し潜り歩きづらくなっている。その分滑落の危険はないのでアイゼンはいらない。荷物が30kgほどありスピードがでない。改善の余地がある。



一の沢の頭基部からやせ尾根がつづいている。落ちれば荒沢側にまっさかさま。ここからアイゼンをはき慎重に足をすすめる。隣の赤岩尾根と爺が岳が次第に近づいてくる。



一の沢の頭に 10:50 着。POND の予定としては 10:00 着だったらしい。もう少しペースを上げなければ。ただこのペースであれば二の沢の頭、さらに荒沢の頭まで今日中に進めそう。

一の沢の頭で小休止。ここからいったん下りにはいる。POND が下っている間、YONE は上で待機。それほど悪い場所ではないが、まちがって滑れば二人そろって荒沢に転がってしまう。POND が 15m ほどくだったところで突然足ずぼ。起き上がれないためのいそいで駆け付ける。両足が膝まで雪に潜っており体を出せない。足を抜いて体勢を立て直す。

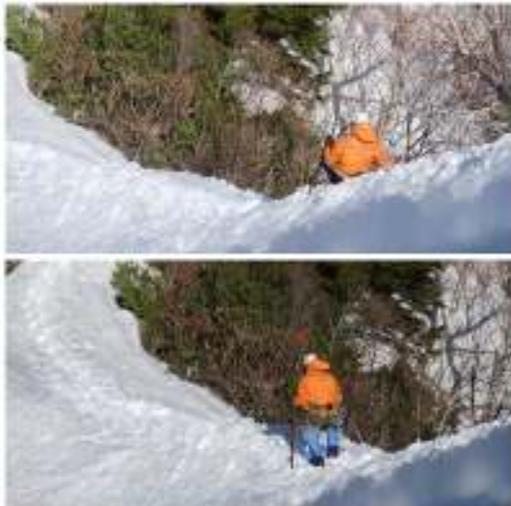


足に力が入らないということで一の沢の頭に確保しながらずりばいでもどる。これ以上の山行は無理そうということで今後の予定を相談する。本部に電話をして、赤岩尾根隊にも連絡を依頼する。

このとき九州から来た別パーティーが一の沢の頭につき話をする。ここでストックを一本貸してもらうことができた。このストックのおかげで **POND** は膝への負担が軽くなり、荷重を分散して歩行することができるようになる。



へりを呼ぶかどうかはひとつのポイントである。へりを呼ぶならピックアップは一の沢の頭となる。ここから下ればもう戻ってくることはできないしピックアップもできない。**POND** がずりばいなら降りられそうということ、天候が安定していることなどから自力下山とする。今日中にやせ尾根だけは越えるように予定する。



やせ尾根を越えたところで **16:00** 近く気温も下がってきた。これ以上の行動は予期せぬ事故を引き起こす可能性があること、スタカットでの待機中に体が冷えることからここでテントを張る。すでに雪稜にはいるため翌日の行動はそれほど危険を伴わない。時間をかければ下山は可能である。



2013/5/4

テントを撤収して **9:00** に出発する。雪稜と藪の連続であるが傾斜がそれほどきつくないのでコンテですすむ。コンテをするのは子供が生まれる前に妻と一緒に山行をした時だけだった。いきなり緊張してくる。ただスピードはやはり速い、前日は3時間ほどかかっていた高度を一時間ほどで下ることができる。



11時前に赤岩尾根のサポート隊と合流する。前日大谷原と高千穂平を往復してくれた。いろいろ準備をしてさあこれから鹿島槍というところで戻ることになった新人には本当に申し訳ない。**M-SPO** と **Martin** も追加のアルバイトをしてここまで登ってきてくれてありがたい。



POND もこの辺ですこし気分が楽になったのかポーズをとって記念写真。足の痛みがあるなか長時間よく頑張ったと思う。



Yone と Martin はここから荷物をもって下降。POND の確保は M-SPO にしてもらおう。

15:00 位には全員下山。Gunsou と Nora にテントを撤収してもらい大谷原を出発。信濃大町で 17 時くらいに解散。